



2023.6.1

校長室から

No 5



高校総体にむけて

高校総体の壮行式Ⅰ、Ⅱが行われました。全校生徒が集まって行う壮行式は4年ぶり。4年ぶりと言うことは、体育館にいる生徒の中に経験者は0ということです。

壮行式Ⅰでは、並ぶ場所や応援の仕方など、選手もそれ以外の生徒も手探り状態。久しぶりの校歌もなかなか歌えない中での応援でした。それでも、応援団がしっかりした演技を見せ、選手を激励することができました。応援団に合わせて拍手での応援では初めてとは思えない、息の合った応援をすることができたと思います。壮行式Ⅱでは、さすがの応援でした。吹奏楽部の演奏で入場した後は、応援団を中心に、心をついに、選手の皆さんに頑張るって欲しいという思いを伝えることができたと思います。生徒会長の挨拶で、ショーペンハウエルが出てきたときには驚きましたが、中央高校生らしい立派なあいさつでした。選手宣誓も、周りへの感謝の心と試合への意気込みが凝縮しており、心を打つものでした。全力で頑張ってきてほしいと感じました。

今年は、4年ぶりの総体開会式も行われます。残念ながら、開会式は無観客、各校の行進も選手、団長含め10名までと制限が大きい中ではありますが、応援団やチアリーダーの演技も予定されています。また、各団体の試合は、応援なども含めてコロナ前と同様の対応になるところが多いと思います。専門部の要項に従って応援等をお願いいたします。弘前中央高校の体育館ではバスケットボールの試合が行われることになっています。

校内を歩くと

私の居る校長室の窓からはグラウンドを見渡すことができます。校長室から見ると、一番手前で陸上部が、少し先でソフトボール部が活動しています。その先のテニスコート、弓道部の様子も遠くから眺めることができます。体育館や武道場で汗を流す生徒の姿も、そっと遠くから眺めています。練習を見に行くと、生徒は落ち着かないようです。練習を止めるのも申し訳ないので、遠くから・・・と決め、心の中で、（時には声に出して）頑張れと唱えています。

同時に、本校では、文化部も盛んに活動しています。校内をぐるりと歩くと音楽あり、演劇あり、作品あり、実験あり etc. どの生徒も生き生きと、自らの活動に集中している様子を楽しみ眺めています。先日行われた、吹奏楽の定期演奏会も大盛況でした。多くの皆様にお越しいただき、また、日頃から生徒達の活動を支えていただき、ありがとうございます。

(文責 齋藤 郁子)